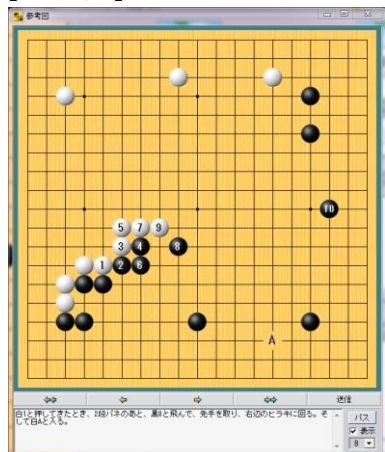


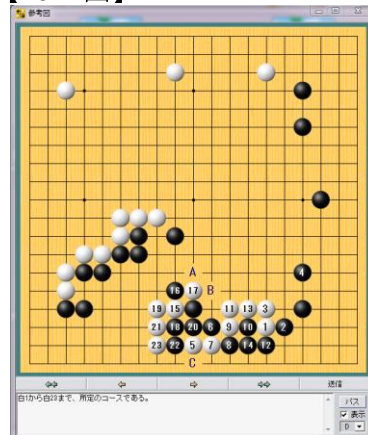
14. 別パターン （補足：47-2 図の変化）

【49-1 図】



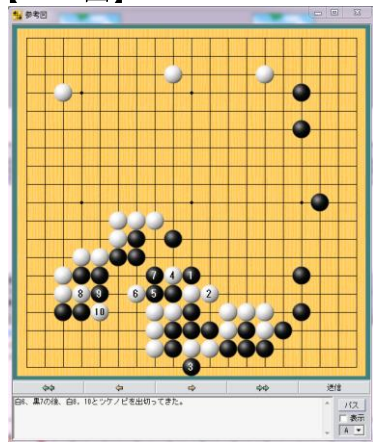
【49-1 図】 白 1 と押してきたとき、2 段バネのあと、黒 8 と飛んで、先手を取り、右辺のヒラキに回る。その時、トレンド君は中央のケイマを打たずに、白 A と入ってきた。

【49-2 図】



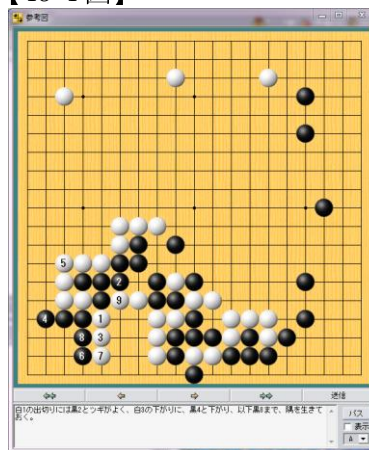
【49-2 図】 白 1 から白 23 まで、所定のコースである。この後、黒の中央の壁にいくつか断点があるので、左側を確定する意味で、黒 A、白 B を決めた後に黒 C とかかえた。

【49-3 図】



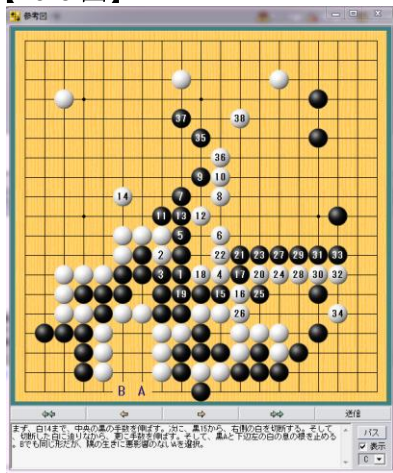
【49-3 図】 白 6、黒 7 の後、白 8、10 とツケノビを出切ってきた。

【49-4 図】



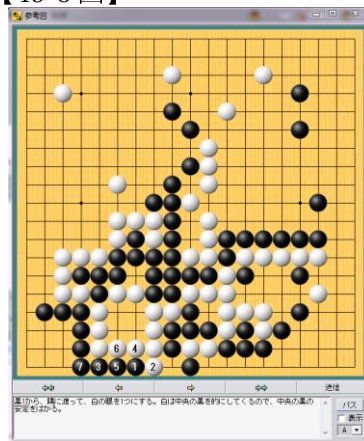
【49-4 図】 白 1 の出切りには黒 2 とツギがよく、白 3 の下がりに、黒 4 と下がり、以下黒 8 まで、隅を生きておく。白 9 は生きたふり、黒が続けて打てば生きはないが、切断されている中央の黒の対処を優先する。

【49-5 図】



【49-5 図】まず、白 14 まで、中央の黒の手数を伸ばす。次に、黒 15 から、右側の白を切断する。そして、切断した白に迫りながら、更に手数を伸ばす。そして、黒 A と下辺左の白の息の根を止める。B でも同じ形だが、隅の生きに悪影響のない A を選択。

【49-6 図】



【49-6 図】黒 1 から、隅に渡って、白の眼を 1 つにする。白は中央の黒を的にくるので、中央の黒の安定をはかる。

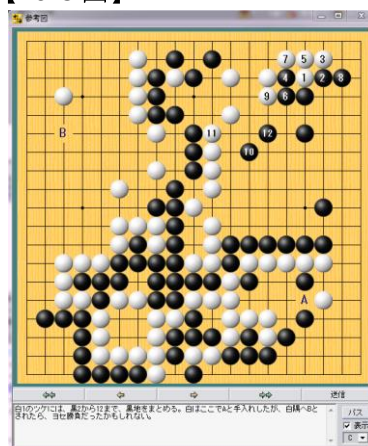
【49-7 図】



【49-7 図】白 1 からの攻めに対して、黒 14 まで、なんとか生き形が見えてきた。切断されている白は、右上隅に付けて、自身の安定と黒地削減を狙ってくる。

【49-8 図】白 1 のツケには、黒 2 から 12 まで、黒地をまとめる。白はここで A と手入れしたが、白隅へ B とされたら、ヨセ勝負だったかもしれない。

【49-8 図】

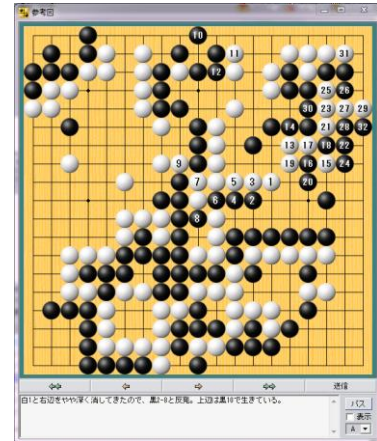


【49-9 図】



【49-9 図】 白 1 と下辺右の白に手入れしたので、黒 2 と白隅に手をつけることができた。黒 14 までで生き。

【49-10 図】

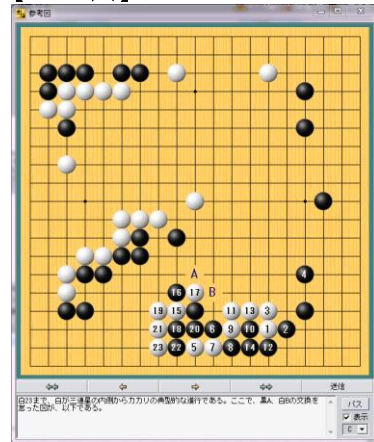


【49-10 図】 白 1 と右边をやや深く消してきたので、黒 2-8 と反発。上辺は黒 10 で生きている。白 15 からの侵入も、正しく受ければ、止まっている。(以下略。黒の中押し勝ち)

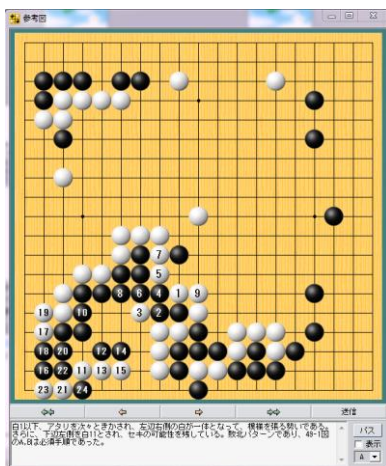
注意事項：

【50-1 図】 49-2 図の黒 A、白 B を忘れてしまい、強烈な反撃を受けた。白 23 まで、白が三連星の内側から力カリの典型的な進行である。ここで、黒 A、白 B の交換を怠った図が、以下である。

【50-1 図】



【50-2 図】



【50-2 図】 白 1 以下、アタリを次々ときかされ、左辺右側の白が一体となって、模様を張る勢いである。さらに、下辺左側を白 11 とされ、セキの可能性を残している。敗北パターンであり、50-1 図の A、B は必須手順であった。